

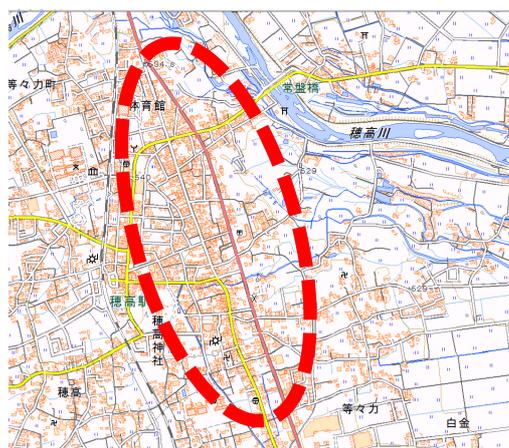
塩の道の街道筋のまちの暮らしの変化を今に伝える

旧穂高町の旧国道沿いはかつての千国街道の宿場「保高宿」で、文化庁の調査報告書※にも取り上げられています。明治時代以降の鉄道網の発達や自動車交通の発達で、宿場の雰囲気は失われつつありますが、旧穂高町の中心地として、江戸末期～明治～大正～昭和～平成までの様々な時代のまちの構成要素が入り混じった特色ある空間になっています。その特色をまちづくりや活性化の活動に活かしていくことが大切です。



旧若松屋

協定団体：安曇野まちなかにぎわいプロジェクト



項目	内容
環境の土台 まちなか	<ul style="list-style-type: none"> ○市内西側の扇状地の末端に広がる緩やかな地形 ○千国街道沿いの主要な宿場のひとつ
物語の 構成要素	<ul style="list-style-type: none"> ○枡形・十王堂 <ul style="list-style-type: none"> ・宿場のまちを伝える名残 ○道祖神等の石造物 <ul style="list-style-type: none"> ・昔の街のなかで昔から続く信仰 ○町屋建築 <ul style="list-style-type: none"> ・宿場の痕跡を伝える建物 ○見世蔵・看板建築 <ul style="list-style-type: none"> ・明治以降の近代化を伝える建物 ○狐小路 <ul style="list-style-type: none"> ・明治～昭和初期まで多くの人が訪れた歓楽街の名残 ○多くの偉人たちをはぐくんだまち <ul style="list-style-type: none"> ・松沢求策、井口喜源治、小川大系 他 ○火の見櫓 <ul style="list-style-type: none"> ・黒部ダム建設の生き証人
産業の関係・ 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の店舗の連携等を通じて活性化を推進 ○市街地の環境の変化のスピードが速く古いものが厄介者扱いの傾向
市民活動等の 内容	<ul style="list-style-type: none"> ○旧保高宿今後のまちづくりに向けた提言 ○安曇野まちなかカレッジ ○穂高あめ市 ○穂高七夕 等

※ 中央日本塩の道地域連携整備計画調査文化調査報告書 別冊 歴史的町並み・集落等の分布調査編 (2001年)



街道北側からの町並み



十王堂



南の枡形の石造物群



大正ロマンを感じる建築



火の見櫓